



SEAMAIL

Newsletter from Software Engineers Association

Vol. 15, Number 10 February, 2008

目 次

SEA Forum October 2007

開催案内	1
SEA フォーラム「SNS」のまとめ	中野 秀男 2
発表スライド	
SNS	中野 秀男 5
OpenPNE プロジェクト	手嶋 守 8
社内SNS(Nexti)のご紹介	竹倉 憲也 27
コミュニティ活動ツールとしてのSNS	野村 行憲 36
編集後記	44
SS2008開催予告	45

ソフトウェア技術者協会

Software Engineers Association

ソフトウェア技術者協会(SEA)は、ソフトウェアハウス、コンピュータメーカー、計算センタ、エンドユーザ、大学、研究所など、それぞれ異なった環境に置かれているソフトウェア技術者または研究者が、そうした社会組織の壁を越えて、各自の経験や技術を自由に交流しあうための「場」として、1985年12月に設立されました。

その主な活動は、機関誌SEAMAILの発行、支部および研究分科会の運営、セミナー／ワークショップ／シンポジウムなどのイベントの開催、および内外の関係諸団体との交流です。発足当初約200人にすぎなかった会員数もその後増加し、現在、北は北海道から南は沖縄まで、300余名を越えるメンバーを擁するにいたりました。法人賛助会員も15社を数えます。支部は、東京以外に、関西、横浜、名古屋、九州、広島、東北の各地区で設立されており、その他の地域でも設立準備をしています。分科会は、東京、関西、名古屋で、それぞれいくつかが活動しており、その他の支部でも、月例会やフォーラムが定期的に開催されています。

「現在のソフトウェア界における最大の課題は、技術移転の促進である」といわれています。これまでわが国には、そのための適切な社会的メカニズムが欠けていたように思われます。SEAは、そうした欠落を補うべく、これからますます活発な活動を開いて行きたいと考えています。今まで日本にはなかったこの新しいプロフェッショナル・ソサイエティの発展のために、ぜひとも、あなたのお力を貸してください。

代表幹事：田中一夫

常任幹事：荒木啓二郎 熊谷章 高橋光裕 中野秀男

幹事：
石川雅彦 落水浩一郎 増田芳夫 蔵川圭 小林修 小林允 近藤康二
桜井麻里 酒匂寛 塩谷和範 篠崎直二郎 新谷勝利 新森昭宏 杉田義明
鈴木裕信 玉井哲雄 中来田秀樹 奈良隆正 野中哲 野村行憲 野呂昌満
端山毅 平尾一浩 藤野誠治 松原友夫 渡邊雄一

事務局長：岸田孝一

会計監事：吉村成弘 橋本勝

分科会世話人
環境分科会(SIGENV)：塩谷和範 田中慎一郎 渡邊雄一
教育分科会(SIGEDU)：君島浩 篠崎直二郎 杉田義明 米島博司 森泉清
ネットワーク分科会(SIGNET)：人見庸 松本理恵
プロセス分科会(SEA-SPIN)：伊藤昌夫 塩谷和範 新谷勝利 高橋光裕 田中一夫 端山毅 藤野誠治
フォーマルメソッド分科会(SIGFM)：荒木啓二郎 伊藤昌夫 熊谷章 佐原伸 張漢明 山崎利治
オープンソース分科会(SIGOSS)：石川雅彦 岸田孝一 杉田義明 鈴木裕信 中野秀男

支部世話人
関西支部：小林修 中野秀男 横山博司

横浜支部：野中哲 藤野見延 北條正顕

名古屋支部：石川雅彦 角谷裕司 野呂昌満

九州支部：荒木啓二郎 武田淳男 平尾一浩

広島支部：佐藤康臣 谷純一郎

東北支部：布川博士 野村行憲

賛助会員会社：SRA PFU オムロンソフトウェア キヤノン 新日鉄ソリューションズ ダイキン工業
オムロン 富士電機リテイルシステムズ NTTデータ ヤマハ オープンテクノロジーズ SRA西日本
SRA東北 エフビクス 電盛社
(以上15社)

SEAMAIL Vol. 15, No. 10 2008年2月25日発行 編集人 岸田孝一
発行人 ソフトウェア技術者協会(SEA)

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-12 丸正ビル5F

T: 03-3356-1077 E-mail: sea@sea.or.jp URL: <http://www.sea.jp/>

印刷所 市田印刷株式会社 〒114-0014 東京都北区田端2-3-25
定価 500円 (禁無断転載)

SEA Forum October 2007

SNS (Social Network System)を考える

主催：ソフトウェア技術者協会（SEA）

<http://www.sea.jp/>

日本では Mixi の普及で火がついた形の SNS ですが、今回のフォーラムでは、この SNS をオープンソース化して、さらにすぐれたツールとして普及させようと努力しておられる OpenPNE プロジェクトの手嶋守さん（手嶋屋）をゲストにお迎えし、SNS の現状と将来についての討論を展開したいと考えています。また、企業内 SNS として最近話題になっている NTT データ その他の事例についても紹介していただきます。

後半のパネルでは企業だけでなく大学やコミュニティでの事例に触れながら、Positive Filtering といわれている SNS のツールとしての限界や、その打破に向けての本音でオフレコな話を予定しています。多数の方々の参加をお待ちしています。

***** 開 催 要 領 *****

1. 日時: 2007 年 10 月 11 日(木) 12:30 受付, 13:00 開始, 16:45 終了
2. 場所: 新宿歴史博物館 2階ホール

東京都新宿区三栄町 22

地下鉄丸の内線「四谷 3 丁目」駅から徒歩 8 分

3. プログラム

12:30 - 13:00 受付

13:00 - 15:30 プレゼンテーション

「インターネットツールの進化としての SNS」 中野秀男（大阪市大）

「OpenPNE プロジェクト」 手嶋 守（手嶋屋）

「NTT データの社内 SNS(Nexti)」 竹倉憲也（NTT データ）

「コミュニティ活動ツールとしての SNS」 野村行憲（アイシーエス）

15:30 - 15:45 Break

15:45 - 16:45 オープン・ディスカッション

司会: 中野秀男

パネリスト: 上記のスピーカー3人

SEA フォーラム「SNS」のまとめ

中野秀男
(大阪市立大学)

いつもの遅筆でオンデマンドでないと稼働しないという状態で、編集長から催促されてやっと発表者のプレゼン資料を整理し、まとめを書くことになりました。

10月11日に開催されたフォーラムは日本ではMixiで代表されるSNSをSEAでも取り上げることになったものです。SNSはいろいろな切り口があるのですが、Mixiについて論じるとか、地域SNSではなく、オープンソースソフトウェアである手嶋屋さんのOpenPNEを基調講演として、企業での取り組みをNTTデータの竹倉さんに話してもらい、後半でパネル討論の形で企画しました。企画の段階では岩手で取り組んでおられる岩手大学の先生を呼ぼうと考えていたのですが、予定があわず、SEA幹事の野村さんがコミュニティ的な利用をされているのでその話も少ししてもらってから、後半のパネルにしました。

すでに還暦を迎える、インターネットウォッチャーかなと思っている私としてはSNSは新たに出てきたツールだととらえています。ブログはやってなかったので、ちょうど流行始めていたMixiに登録し日記替わりに初めてみたのが私のSNS事始めでした。調べてみると2004年9月26日の日記で「ほろ酔い日記でも書こうかな」から始まっています。個人的な日記ですが、出してもいい店の名前以外は固有名詞はなるべく入れないように記述して、より具体的に思いだしたいときは予定表を併用している。

Mixiはそのような理由で始めたが、自分史的には面白いかなと思っている。「足あと」を見るとコンスタントに毎日二三十人の方が読んでくれていて、米国にいる妹や東京勤務の長男や従姉妹が読んでいて健康を気遣ってくれたり、教え子が指導教官の日々を観察されている。SNSの新しいところは「コミュニティ」の導入でSNSにはユーザが招待しないと入れないが、コミュニティは許可制であったり、オープンであったりと好きにコミュニティが作れるのが新しいところである。許可性という意味ではPGPの信頼の輪がモデルであるが、「友達の友達は友達か」という大きなテーマの解釈で、コミュニティ育成の成否が問われる。

手嶋屋さんは若手ながらプログラム作りにも積極的で、オープンソースな人なのにプロフィットモデルもしっかりしていて、これから大きくなる若手の一人だと思い幹事会でも推薦して基調講演的に話をしてもらった。プロフィットモデルの部分は今回のプレゼン資料にはないが、パネル討論では資料を見せもらっている。SNSは300ユーザまでが限度だと主張される手嶋さんには共感を覚えて、大阪でもバーテンダーだけのSNSOpenPNEで立ち上げるサポートをされており、SNS間をまたぐSNSや二人だけのSNSとか、「小窓」という概念を提案されて組み込んでみたり常にアグレッシブである。私はOpenPNEはOpenPNE本体のSNSや研究科のSNSや指導する院生間のSNSにも利用している。このセミナーの感想を手嶋さんが社長のブログの中で書かれてるので、その部分を最後に転載する。

NTTデータの竹倉さんの発表は階層関係を基本とする企業の中での運用で、多くの企業から着目されている企業内 SNS である。プレゼン資料は公式発表であるが、話の中では「実は」という話も多く、古くはインターネットのネットニュースやパソ通の掲示板でのコーディネータの重要性がコミュニティとしての SNS 利用では肝であることが分かる。発表時には実データも提示されたが公開ではないのでここでは掲載をしていない。

野村さんの話は地域コミュニティでの SNS 利用で、ボランティア活動を SNS でも支援するものである。これが自治体レベルになると地域 SNS になる。私も大阪を中心に今までボランティア活動をやってきて、今でも看板的な立場でやっているが、ボランティア的なコミュニティと、自治体が直接関係するコミュニティでは本質が違う。「自治体は住民を選べない」が「住民は自治体を選べる」点が大きいと思っている。ここでもキーワードはやはり信頼であろうか。

このフォーラムでは個人的には始めて IC レコーダで録音をした。今回提示したプレゼン資料の公開は後援者から許可をもらっているが、録音部も講演者の許可を得て BASIC 認証で WEB にアップも考えている。

手嶋さんの Blog から

SEA フォーラムに参加してきました。NTT データさんが導入している nexti は非常に参考になりました。以下は気になったキーワードです。

- * 8000人中6000人が参加
- * あえて招待制
- * 本業を抱えている社内ボランティアメンバーによる運営
- * 社員を信頼して自由に使ってもらう
- * 実名制にしている。荒れない
- * 少少の遊びが必要
- * 社長は、社内広報の一環として利用
- * 貢献的利用者に初期メンバーになってもらった

参加者からの意見

- * GREE はコミュニティの整理がダメージを与えた

鋭い人とたくさん議論しているときに新しいアイデアは生まれてきます。今回議論しながら思ったことは、「OpenPNE はソーシャルネットの表現に特化すべきだ」と言うことです。

普段 SNS のトレンドを追いかけていると、いろんな新機能を実現したくなります。それぞれのコミュニティの性質ごとに個別の機能を実現するのは、おもしろいので賛成です。エンターテインメント系の SNS にアバターをつけたり、社内 SNS にスケジュール機能をつけたり、と言う感じ。

では、そのベースエンジンとしての OpenPNE にはどこまでの機能を搭載したらいいのか？ と言うのが目下の悩みの種です。

- * フォトアルバムは？ うーん、入れても良いか
- * Wiki は？ 出来れば既存の Wiki エンジン使いたいなあ
- * CMS？ うーーーむこれもどこかにあるんじゃないかな？
- * 広告管理？ これは広告代理店のアドサーバの方が良いのでは？

等と考えていくと、いつも悩んでしまいます。

そうして考えていくと、OpenPNE 本体に搭載すべき機能というのは「ソーシャルネットそのもの」なのではないかと思います。

- * この人とは友達、この人は嫌い
- * この人は SNS の外の人、この人は中の人
- * 既存組織の ID と連携して、全部取り込み

こうした人と人とのつながりを表現するベースの入れ物として、OpenPNE を発展させて行きたいと思います。

当面取り組みたいと思っているのは

- * コミュニケーションのベースツールとしてのユーザーインターフェース
- * ソーシャルネットを的確に表現をするためのプログラム内部構造
- * カスタマイズが容易になるための外部向け API

です。

今日のフォーラムやその後の議論で、改めてこうしたことを考えることが出来ました。悩みながら、こうしたソーシャルネットの研究をすることはとても楽しいです。

ソーシャルネットの表現を SNS で研究・実現したい！と言う方は、一緒に開発しませんか？



OSAKA CITY UNIVERSITY

SEA Forum Oct/2007
SNS

大阪市立大学
創造都市研究科/学術情報総合センター

中野秀男
nakano@media.osaka-cu.ac.jp
hideo@gsc.osaka-cu.ac.jp
<http://www.media.osaka-cu.ac.jp/~nakano/>

Oct/11/2007 SNS



FORUMの構成

OSAKA CITY UNIVERSITY

- プрезентーション
 - 導入: 中野「SNSは究極のツールか」
 - 基調: 手嶋「OpenPNEプロジェクト」
 - 事例1: 竹倉「NTTデータの社内SNS」
 - 事例2: 野村「コミュニティSNS」
- パネル
 - 上記メンバーで

Oct/11/2007 SNS



インターネットとSNS

OSAKA CITY UNIVERSITY

- ツールの進化
 - 電子メール
 - ネットニュース
 - 揭示板
 - WEB
 - Blog: Web Log
 - SNS: Social Network System

Oct/11/2007 SNS



SNS

OSAKA CITY UNIVERSITY

- Mixi
- GREE
- Recommu
- OpenPNE
 - 本体
 - 研究科
 - 分野
 - 共同研究(テレビとSNS)

Oct/11/2007 SNS



SNSの使い方

OSAKA CITY UNIVERSITY

- 組織内SNS
 - 企業
 - 大学
- コミュニティSNS
 - 地域SNS

Oct/11/2007 SNS

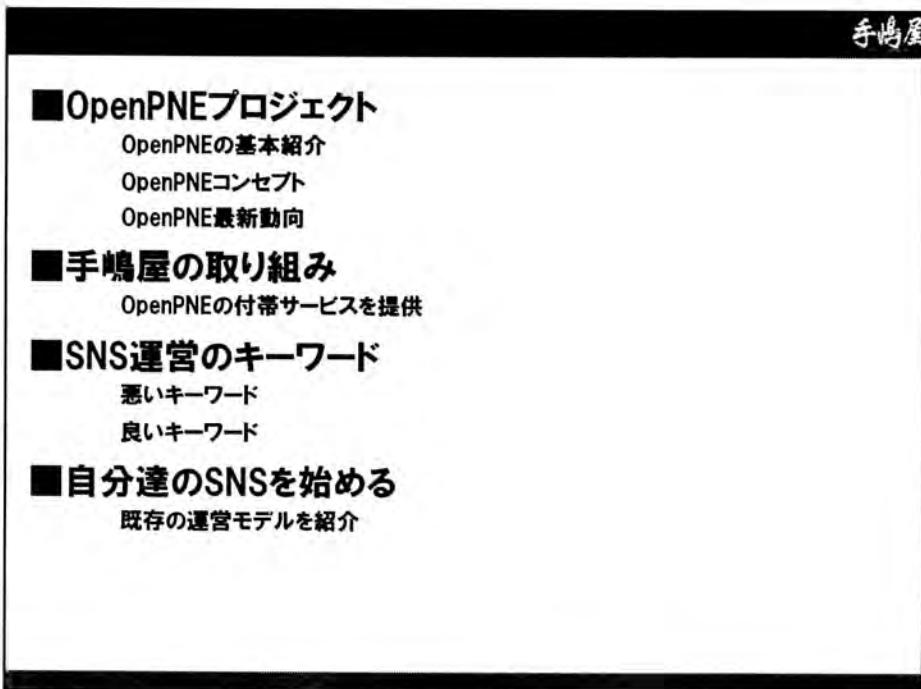


SNS: Positive Filtering

OSAKA CITY UNIVERSITY

- Mixi
 - いろいろな問題が
 - 個人的には日記または備忘録
 - 酔っぱらい日記という噂も
- OpenPNE
 - OSSとしても支援、プロフィットモデル
 - ちょっとパワーがあると作れる
- 私なりの結論: やっぱりコーディネータの力量

Oct/11/2007 SNS

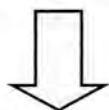


OpenPNEプロジェクト

～OpenPNEの基本紹介～

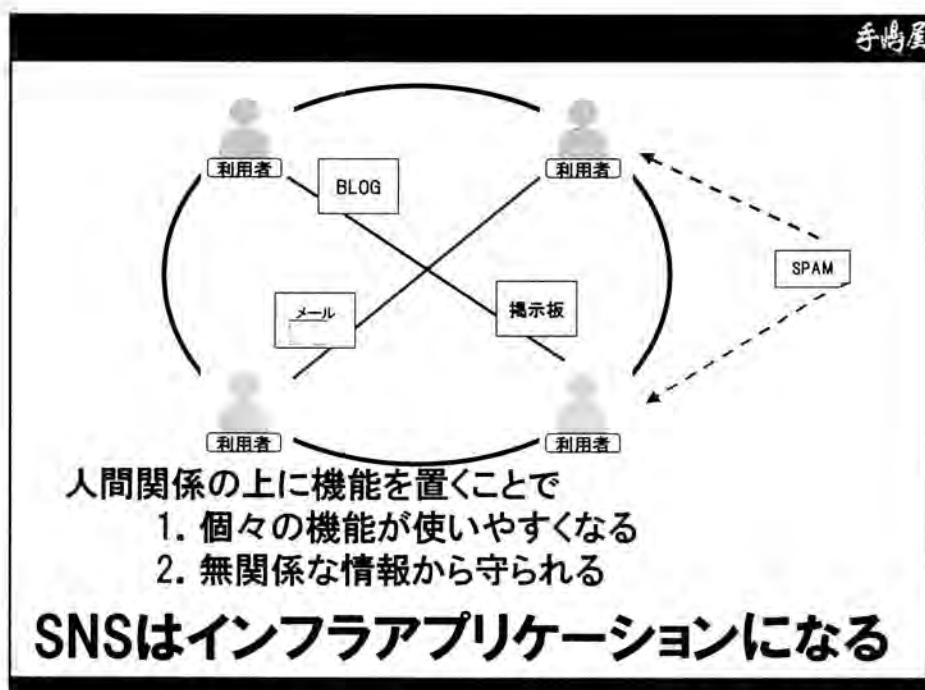
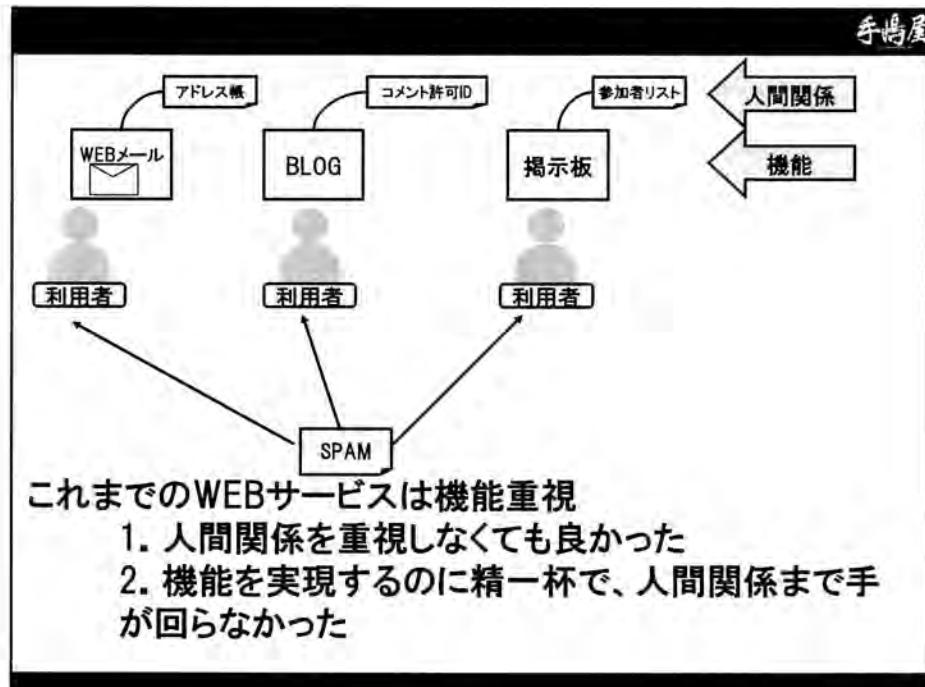
SocialNetworkingService(SNS)

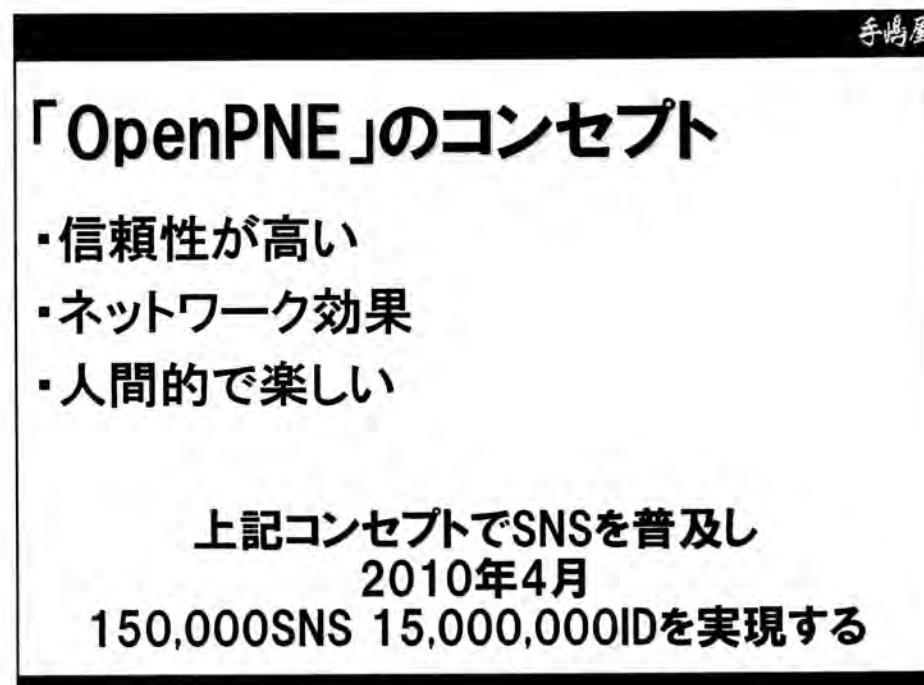
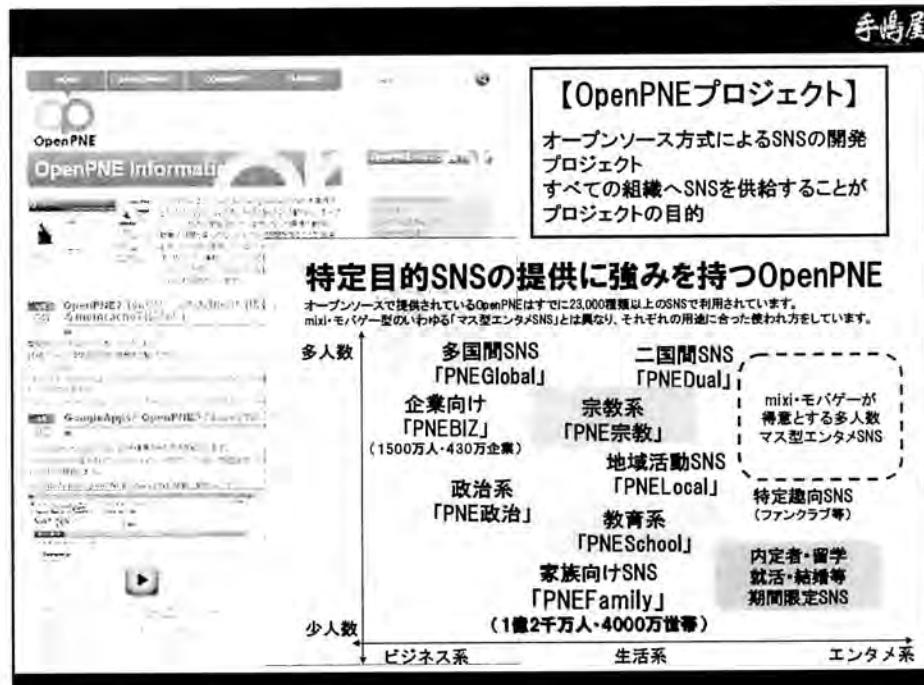
- Social:社会的な
- Networking:つながり・組織
- Service: (WEB)サービス



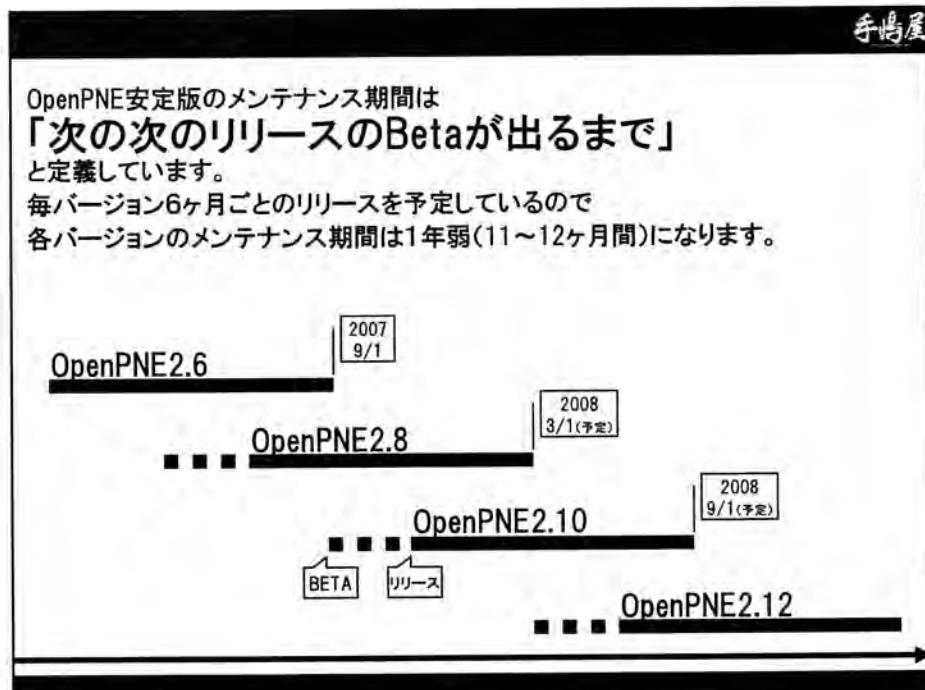
人同士のつながりをWEB上で表現すること

機能重視=>人間関係重視へのパラダイムシフトが
WEB上のサービスを変える









The screenshot compares the mobile layout of OpenPNE versions 2.6 and 2.12. The left side shows the 2.6 layout, which is described as "kanban-style" (kanban-style). The right side shows the 2.12 layout, which is described as "rewritten".

OpenPNE 2.6 (Left):

- Top bar: "OpenPNE"
- Text: "このページをスマートしてください。" (Please mark this page as smart.)
- Buttons: "かんたんログイン" (Simple login), "かんたんログインとは", "スマートコードでログイン", "★携帯アドレス", "★プリント", "ログイン", "スマートコードを使った方".
- Text at the bottom: "OpenPNE.jpは招待制のソーシャルネットワーキングサービスです。登録にはOpenPNE.jpの参加者からの招待が必要です。"

OpenPNE 2.12 (Right):

- Top bar: "OpenPNE"
- Text: "新規会員登録", "日記を書く", "ログイン", "あしあと", "友人を誘う".
- Section: "きわ@もにもにしているさん"
 - GOLD**: 785 Point, 最新日記 / ショウガ
 - スマートコード (20), ハッシュタグ (24)
 - ◆お気に入り
 - スマートコード / 開発者 / 招待文
- Section: "①レポート 最新日記"
 - モモ 本郷ミックラ
管理画面から携帯画面の配色変更
 - [モモ]モモクロフ8888
誰がどういう理由をつけてモモ
- Text on the right: "開発者本郷ミックラさんのお日記
管理画面から携帯画面の配色を
変更できるようにした
07/08/28 00:12
trunkにて。
URL:
?m=admin&a=page_edit_c_sns_config_ktai
コメント (全3件)
1~3件目を表示
08/28 15:36 [削除]
きわ@もにもにしている
ページ名ランダム生成に対応して
ない気がします (*・ω・*)
08/28 15:49
開発者本郷ミックラ
defectでticketあげていてくださいー (*・ω・*)
08/28 16:21 [削除]
きわ@もにもにしている
むあ、update実行してなかった
だけみたいです。出来てしま
たー (*・ω・*)すいません



encafeプロジェクトさんから提供頂いたコードを取り込み
ぐるなび小窓機能を追加します。
NPO法人神戸国際ハーモニーアイズ協会さんから頂いたコードを取り込み
Waju小窓機能を追加します。

～天空の街～ 新宿アジア橋工



新宿コマ劇前★アジア各国の屋台村☆！！全
天候型☆ご予約は各店までお気軽☆☆複
数割引き・雨の日特典有り☆ アジア各国の
ビール&料理！！！！

提供:ぐるなび

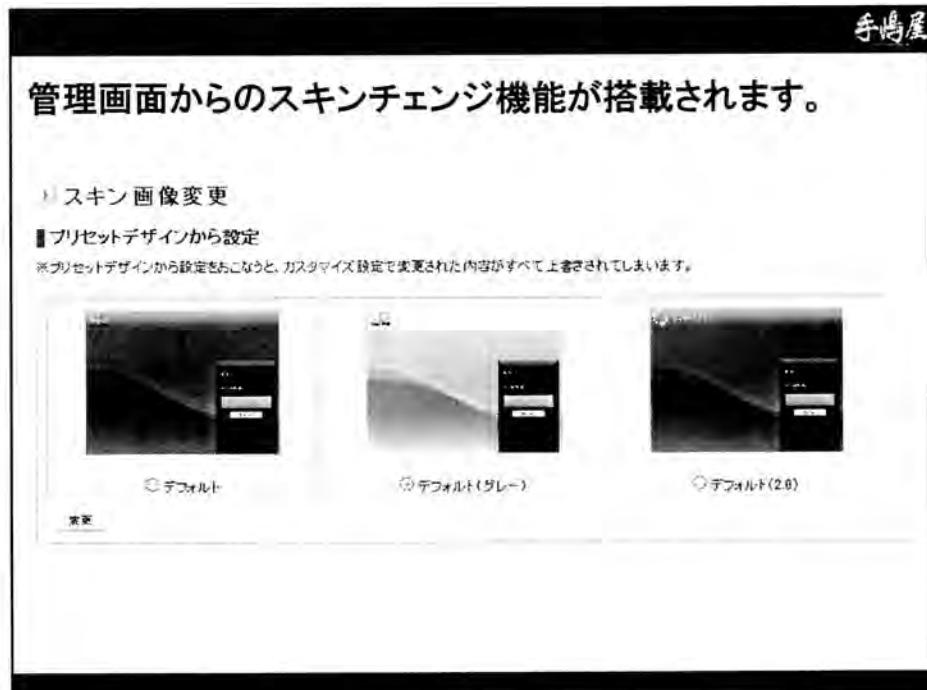
 ぐるなびクーポン有り

JR 新宿駅 東口 東京都 歌舞伎町

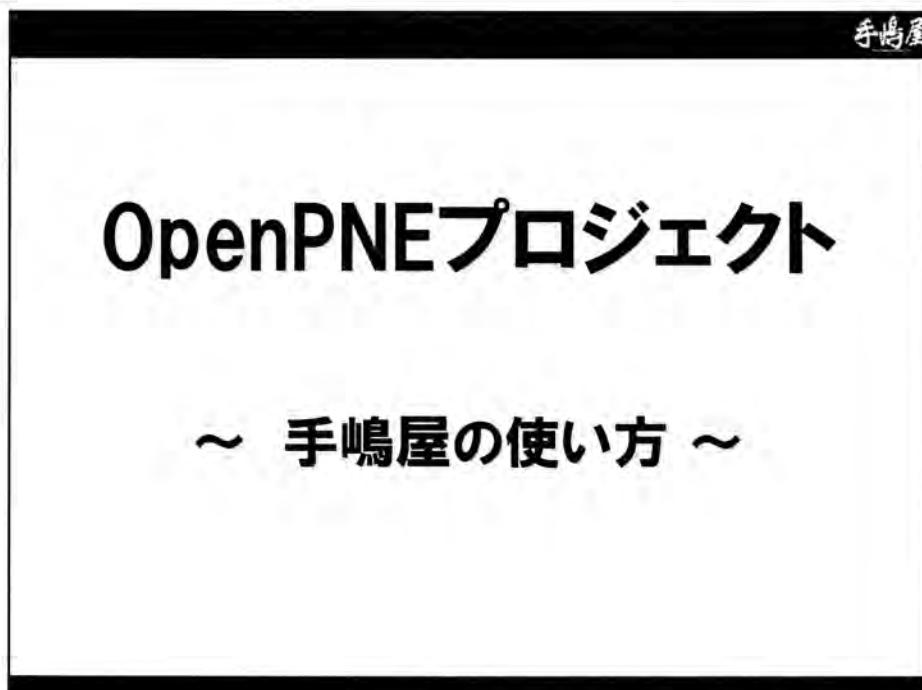
〒160-0000 東京都新宿区歌舞伎町1-21-1 第2東亜会館ビルRF(屋上)

金・土 17:00~05:00 火~木 17:00~24:00 日・祝 16:00~24:
00 03-3352-2370 (お問い合わせ) 2500円~

ぐるなび小窓 Powered by [ぐるなび](#) × [encafe](#)



A screenshot of a software application's management interface. At the top right, there is a logo for '手嶋屋'. Below it, a title reads '管理機能の強化' (Enhanced management functions). A note states: 'すべてのSNS登録時に個体識別番号を取得することで、業者などが複数アカウントを作り、SNS内で暴れ回ることを抑制します。' (By obtaining individual identification numbers at the time of SNS registration, operators will be prevented from creating multiple accounts and causing trouble within the SNS). Another note says: 'その他管理機能を強化します。' (Other management functions will also be strengthened). A section titled '管理画面のトップをダッシュボードに' (Move the top of the management screen to a dashboard) describes how the top page of the management screen will display graphical status information for SNS, skin introductions, and operational support information. A section titled 'チューニング(システム運用改善)' (Tuning (System operation improvement)) discusses managing session and FUNCTION_CACHE data in memcached and improving performance by straightening bottlenecks.



手嶋屋

自分のSNSが簡単に作れる!
OpenPNE SNSサイトの運営

提供するのは人と人のつながり

社長 メッセージ

手嶋屋 ASP 30万ID突破!

手嶋屋 ブログ

OpenPNE 開発者 ブログ

手嶋屋の社員 ブログ

【会社概要】

- ・会社名 株式会社手嶋屋
- ・設立 2002年3月
- ・役員 代表取締役:手嶋 守
取締役:大平 哲郎
- ・資本金 ¥12,000,000
- ・社員数 9名
- ・本社 東京都板橋区舟渡2-11-23
- ・営業所 東京都新宿区新宿1-6-8
新宿鈴木ビルA館7F
- ・事業内容 オープンソースSNSエンジン「OpenPNE」を利用したSNSの企画・開発・運用含むASP統合サービスの提供
- ・主要取引先 ソネットエンタテインメント株式会社
株式会社ACCESS
日本電気株式会社
株式会社メディヴァ
- ・関連書籍 『図解でわかる!アプリプログラミング—Panel & Canvasコンポーネント』(日本実業出版社)
『OpenPNEによるSNSサイトの構築 オープンソース徹底活用』(秀和システム)



手嶋屋

The section displays four examples of successful SNS implementations:

- ★コンテンツ会員向け小規模SNS <http://so-netsns.jp>【So-netSNS】**
ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社 様
・運用開始: 2006年6月
- ★サガン鳥栖サポーターCommunitySNS <http://saganfc.jp/>【SAGAN TOSU SNS】**
サガニ鳥栖 様
・運用開始: 2005年2月
- ★医療従事者限定SNS <http://medi-wa.jp>【medi-wa】**
株式会社メディヴァ 様
・運用開始: 2005年6月
・医療業界従事者の交流活性化を目指す
- ★ビジネスマッチングなどのクリエイターSNS <http://sns.xshibuya.jp/>【XSHIBUYA】**
広域渋谷圏クリエイターマッチング有限責任事業組合 様
・運用開始: 2006年7月

手島屋

★OpenPNEプロジェクト公式SNS <http://openpne.jp/>
【OpenPNE】

OpenPNEプロジェクト
・運用開始: 2005年4月
・ユーザー: OpenPNEプロジェクト参加者



OpenPNEプロジェクト進行のための
パイロット版SNSです

★医師SNS <http://doctoctor.jp/>
【DocDoc】

DocDoc 木下謙
・運用開始: 2007年5月



「DocDoc」は、医師と医師を
つなげる紹介制SNSとして
医師が主体となって
運営されています。
またサイト上では自由に、
そしてフランクに医師の思い
を語ることのできるSNSです

★ライフスタイルデザインSNS <http://lifo.tv/>
【Lifo】

株式会社 ウィンネット 様
・運用開始: 2005年11月



中高年向けライフスタイル
をテーマにしたSNSです

★同性愛の男性限定SNS <http://menmix.jp/>
【Men's Mix】

MMJソーシャル・ネットワーキング社 様
・運用開始: 2005年11月



同性愛の男性のためのSNSです

手島屋

OpenPNEプロジェクト

～ 成功のためのキーワード～

手嶋屋

悪いキーワード

「カスタマイズ」「アバター課金」

「広告収益」「新規でEC」

「ありがとうございます系」

「書込監視」「SNS専任担当」

手嶋屋

カスタマイズ

会議室の中でカスタマイズの要件定義をするのは困難

SNSメンバーの動きは会議室では読めない

寺島屋

広告収益・新規でEC

SNS単体での収益を見込む
のは困難

寺島屋

ありがとうさようなら系

留学、進学、就職

転職、育児等

終わりがあるSNSは難しい

手錠屋

書込監視・SNS専任担当

監視検閲はCGMを止める可能性がある

SNSの運営は誰かに押しつける物ではない

手錠屋

良いキーワード

「OpenPNE本線追従」

「CGM」「建前・本音」「後ろめたさ」

「現実世界の延長」「オフ会」

「ミッション感」「本業支援」

手湯屋

OpenPNE本線追従

数百人規模の貢献的利用
者と共同開発

新機能は数千人規模のSNS
で実際に使われながら、開
発される

手湯屋

CGM

Consumer Generated Media

SNSメンバーがコンテンツを
作る

SNSメンバーを理解し信じる

手嶋屋

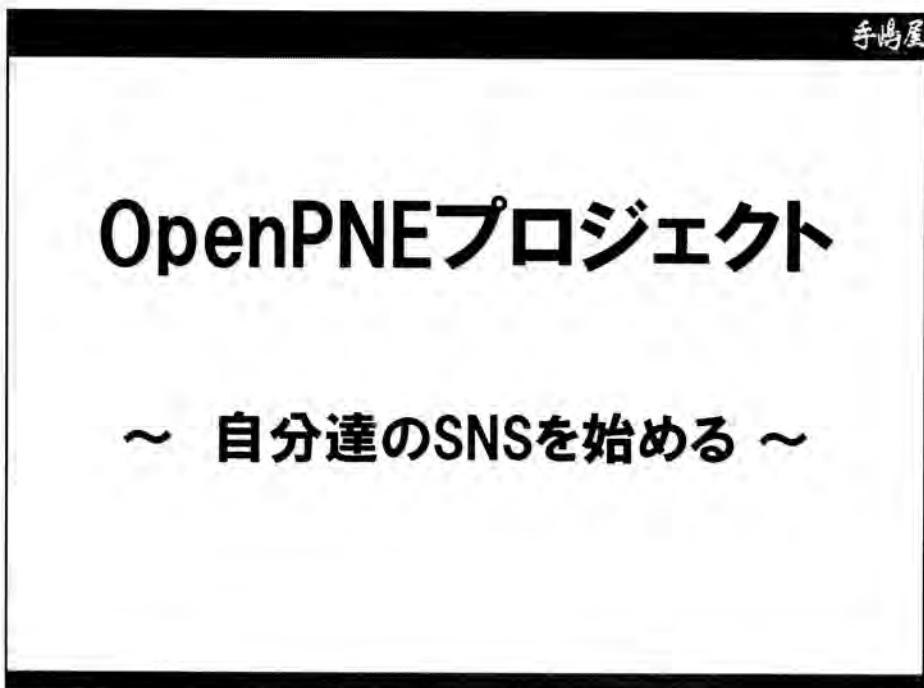
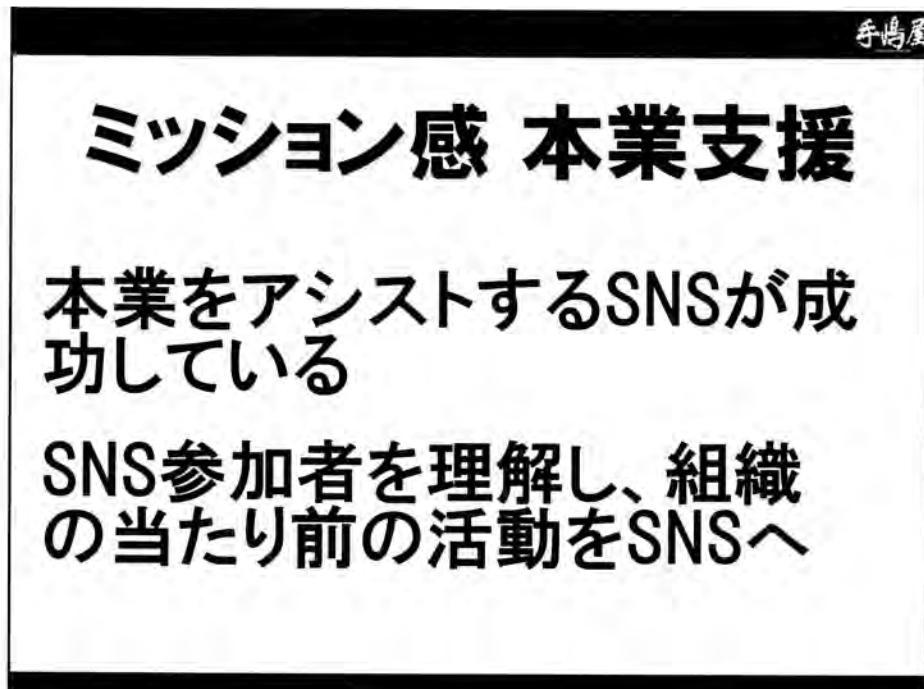
建前・本音 後ろめたさ

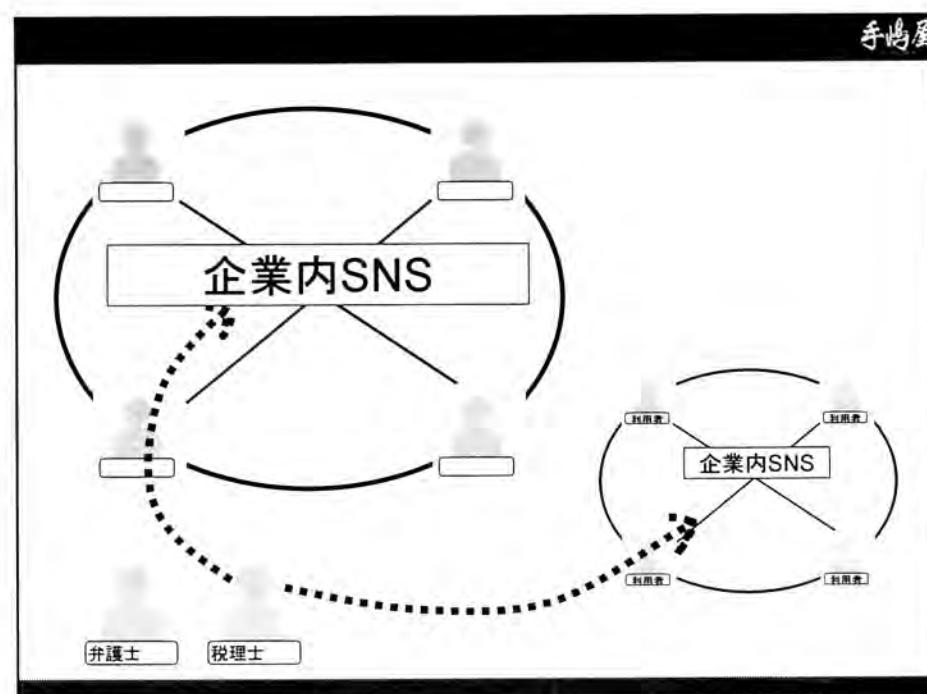
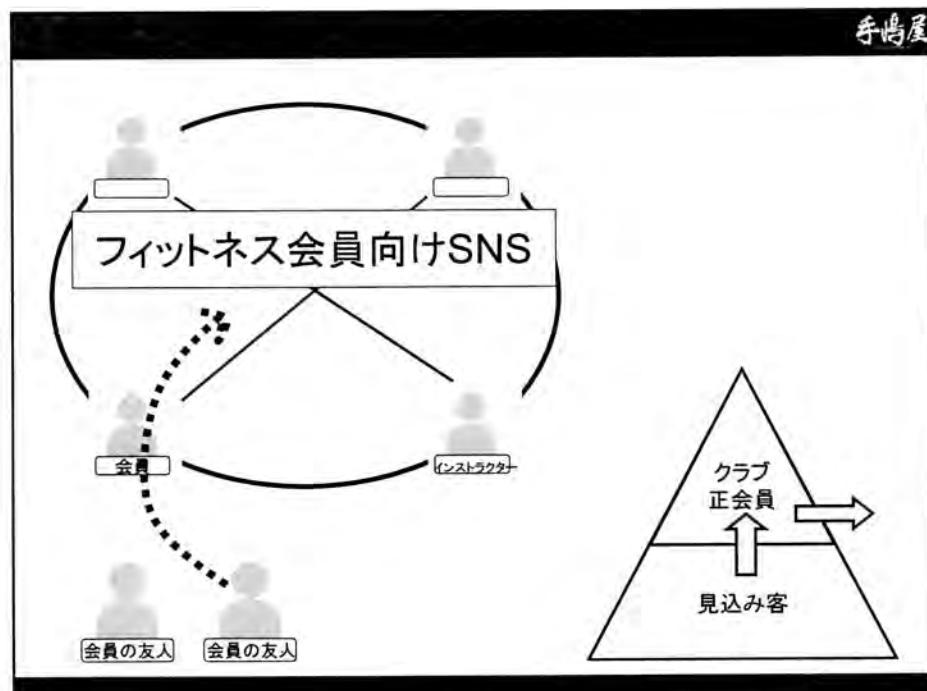
建前を気にしたり、多少のタブーが含まれるSNSが流行る

手嶋屋

現実世界の延長 オフ会

WEB2.0とは言われるけど
SNS上でのコミュニケーションは、現実のベタベタな人間関係に近い



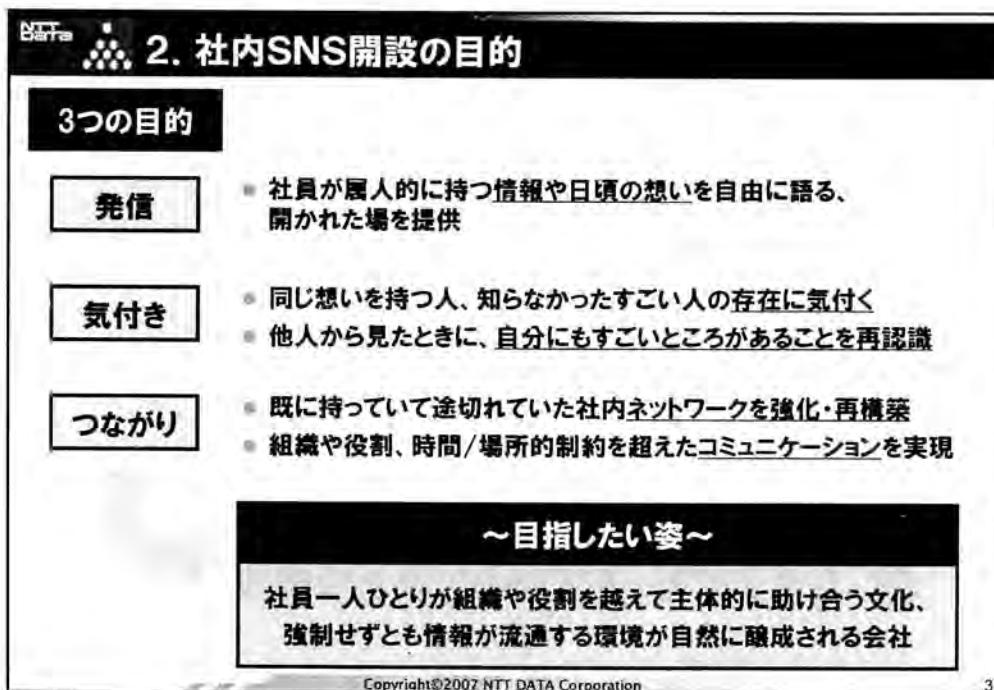
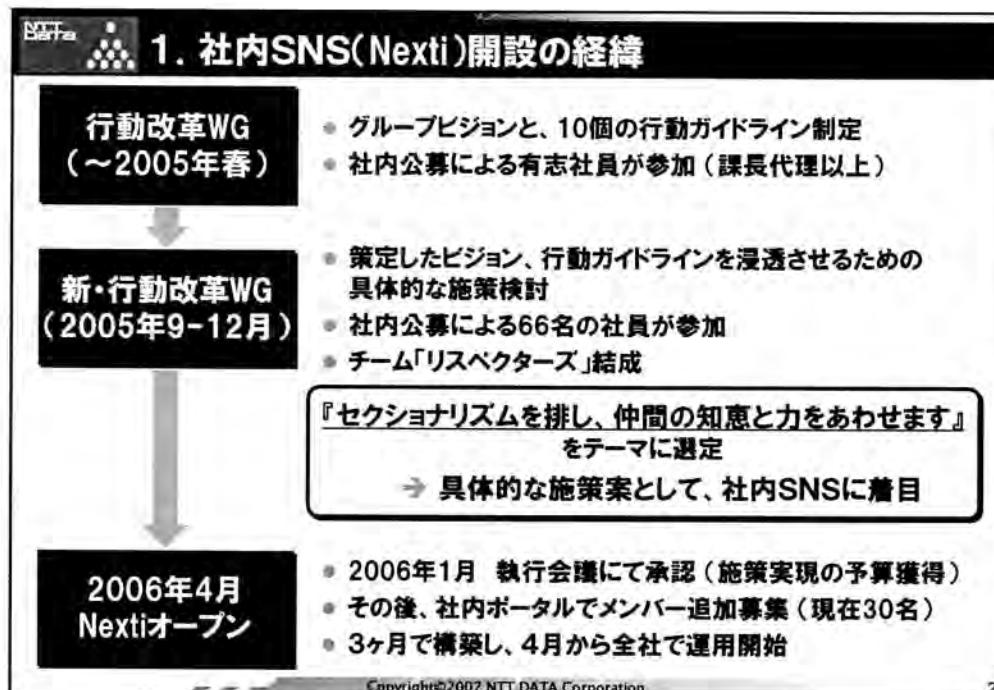


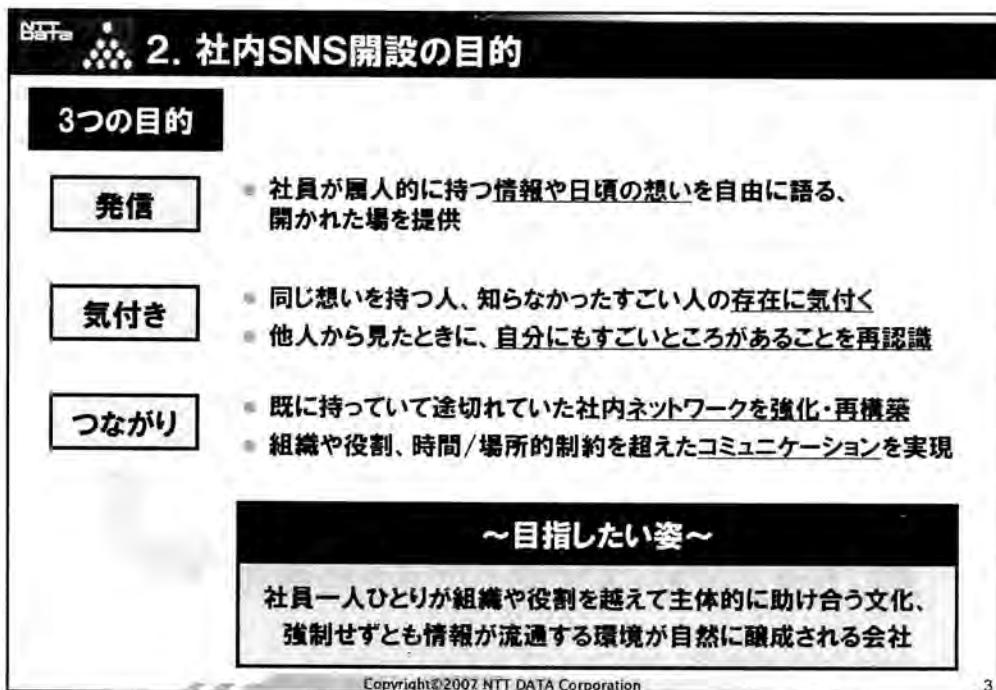
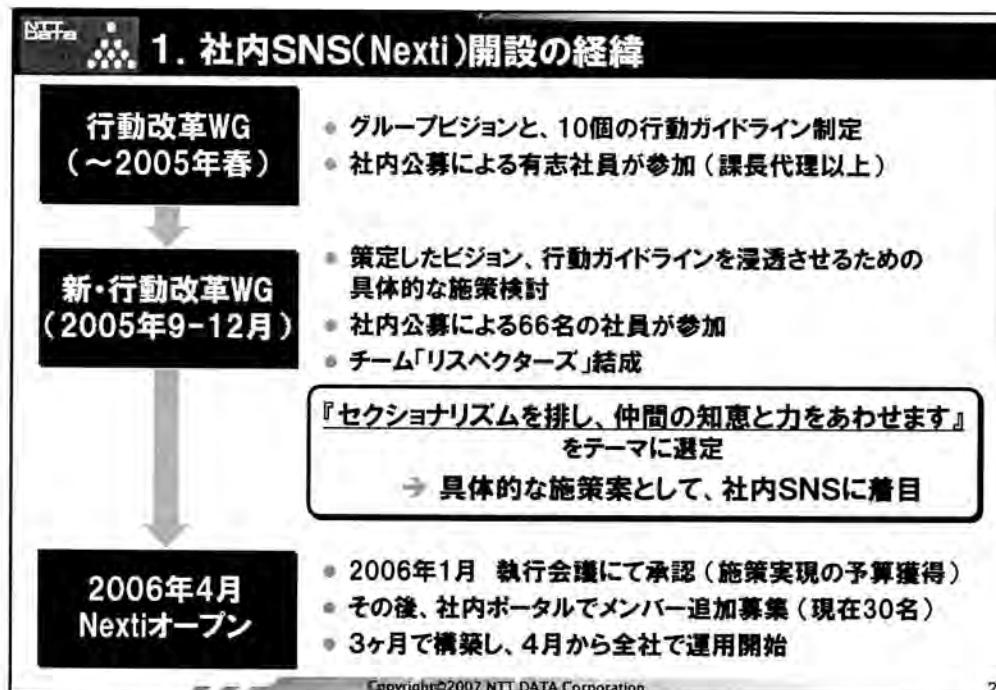


The agenda slide lists six points:

- ① 開設の経緯
- ② 開設の目的
- ③ 利用状況
- ④ 特徴と画面イメージ
- ⑤ 具体的な導入効果
- ⑥ 立ち上げ時・運営時の工夫と今後課題

At the bottom, there is a note: '※「Nexti (ネクスティ)」は、株式会社NTTデータの登録商標です。' and the copyright information 'Copyright©2007 NTT DATA Corporation'.





NTT DATA

3. 利用状況

※数値は2007年10月現在
全社員数8,324人(2007年3月現在)

- 1 現在の登録メンバー数は約6,100人**
 - 2006年4月18日に全社オープン
 - 特別に社内SNS開始の周知を実施せず、社員の口コミでメンバー増加
 - 開始後2日間で1,000人、4日間で2,000人が参加
- 2 アクティブメンバー数は「1,700人」(3日に1回ログインするメンバーの割合)**
 - 「物珍しさ」というフェーズを終え、「使われ方」が徐々に安定しつつある
 - 1日に1回ログインするユニークメンバー数は1,000人強
- 3 コミュニティ数は800超(うちONは半数強)**
 - コミュニティ数についても、登録メンバー数の推移と同じレベルで増加
 - コミュニティには、業務に関連した「ON」と趣味・地域等のプライベート関連のOFFという2つのカテゴリーがあり、オープン以来、ONとOFFの割合は同じ程度で推移
- 4 日記のエントリー数は100~150エントリ/日**
 - 日記へのコメント数が徐々に増加してきている

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

4

NTT DATA

4-1. NTTデータの社内SNSの特徴

- 1 本業を抱える社内ボランティアメンバーによる運営**
 - 利用者と同じ目線で運営する
 - 「経営層からの押し付け」でもなく、「ゲリラ戦」でもないバランス感覚
- 2 参加は、あえて紹介制 & 自己申告制**
 - “横の繋がりを必要としている人”に口コミ効果で広げて活用してもらう
- 3 実名性のコミュニティ**
 - 個人ページやコミュニティでは「自分ごと」で語ってほしいから実名に
 - 誹謗中傷を抑止する効果も
- 4 運営者は交通整理のみ**
 - 最低限のルールのみを決め、活用の仕方は社員の自由な発想に任せる
- 5 少少の遊び・アソビが必要**
 - 堅苦しくないナマの声と新しい発想は、柔軟な環境から生まれる！という理念のもと、やわらかい表現、フレンドリーなデザインを追求

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

5

NTT DATA

4-2. 社内SNSの画面イメージ

■社内SNSの利用規定を
わかりやすい言葉で定めている。

The screenshot shows the homepage of the internal SNS. At the top, there is a banner with the NTT DATA logo and the title "4-2. 社内SNSの画面イメージ". Below the banner, a section titled "■社内SNSの利用規定を わかりやすい言葉で定めている。" contains the usage guidelines. The guidelines are written in Japanese and explain the rules for using the internal SNS. The main content area has a light gray background with some text and small icons.

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

6

NTT DATA

4-3. 社内SNSの画面イメージ

■個人のプロフィールや日記によって、個々人の「人となり」を紹介する。

The screenshot shows two views of the internal SNS. On the left, there is a "個人トップページ" (Individual Top Page) showing a profile picture and various status updates. On the right, there is a "個人日記ページ" (Individual Diary Page) showing a list of recent diary entries. Both pages have a light gray background with text and small icons.

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

7

NTT DATA Barra

4-4. 社内SNSの画面イメージ

■ Q & Aやコミュニティでのやりとりを通じて、組織や業務を越えたコミュニケーションを図る。

Q&Aページ

コミュニティページ

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

8

Barra

5-1. 具体的な導入効果【On】

- ① 組織を越えた意見交換の活性化
 - ・活発なQ & A（平均して1日1件以上、通算200件超、回答数の平均は6~7件）
 - ・全社的な視点からの議論（ここが変だよNTTデータ、人材育成…）
 - ・ビジネスプランに対する議論（コンビニを作ろう！、900審査…）
- ② 既存ビジネスプロセスの一部の社内SNS化
 - ・忙しい人の食☆情報（ヘルスケアセンタ保健師によるアドバイス）
- ③ 同僚の「人となり」を知るきっかけづくり
 - ・初対面の社員の事前リサーチ（仲間リスト、趣味欄…）
 - ・「初めまして」という気がしない
- ④ 既存の社内ネットワークの再構築・強化
 - ・「久しぶり」という気がしない

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

9

NTT DATA 5-1. 具体的な導入効果【On】

組織を越えたQ & Aの活性化の例

- Q「端末増設時に設置するマウスパッドが1枚足りない！」(2007/2/5(月) 15:40)
- A「あ。あります！ 便送便でお送りしましょうか？～。#こんなところで役立つとは!!!」(2007/2/5(月) 16:16)

- Q「お客様から○○業界におけるICカードの活用事例について質問されました…」(2007/1/18(木) 19:00)
- A:当日中に5件、翌日に6件の回答が寄せられ、金曜日中にお客様へご回答した。

- Q「SEという仕事の醍醐味について教えてください」(2007/1/10(水) 17:52)
- A:当日中に2件、翌日15件、翌々日1件の回答が寄せられた。

- 生産性を阻害する要因(17)、インターネット上のクレジットカード決済サービス(11)、NGN(5)、技術系通訳を探しています(8)、社内ソリューションの定義(9)、H19年度以降に発生する制度改正対応(6)、こんな会議室があつたらいいな(14)…

Copyright©2007 NTT DATA Corporation 10

NTT DATA 5-2. 具体的な導入効果【Off】

① データ流モテリーマン

- 「NTTデータ流モテリーマンとは何ぞや」を真剣に語るコミュニティ(190名)

② 俺たちのホライズン

- ミニ四駆について語るコミュニティ(48名)

…ほか多数

Copyright©2007 NTT DATA Corporation 11

NTT DATA 5-2. 具体的な導入効果【Off】

組織を越えたQ & Aの活性化の例

- ビデオカメラを探しています(主に赤ちゃん撮影用途)(14)
- ○○用キャリアベース差し上げます(3)
- 鉄道模型のコト、教えて下さい(17)
- 結婚式で歌う曲(22)
- 犬の里親募集(5)
- 手帳の使用感(6)

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

12

NTT DATA 5-3. 利用者からの声

- ちょっとした議論をする場を持てるようになった
- 自社でこんな仕掛けが実現できるなんて意外
- 幹部の○○さんの人となりが見えて親近感がわいた
- しばらく連絡を取っていなかった人とのつながりが復活した
- 自分と同じ考え方を持つ仲間を見つけることができた
- さまざまな社員がいることがわかり、自社に愛着をもった

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

13

NTT DATA

5-4. 当社経営陣から社員へのメッセージ

「社内SNSの仕組みはとてもシンプルですが、この内で役員や社員が組織や役割を超えて気軽に情報発信・共有したり、意見を交わしたりできる点がとても有益だと思います。

SNSによるコミュニケーションはとても人間らしい仕組みで、時間や場所の問題から疎遠になりがちな人たちとつながって話ができることで、仲間としての意識も生まれてくるのではないかと思います。また、自分や周囲の人たちだけで解決できない問題を投げかけて、より広い範囲の社員から知恵を借りることもできるでしょう」

(2006/5 社員向け社長コラム「未来共創」より抜粋)

代表取締役社長 浜口友一

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

14

5-5. 社外での反応

■社外でも取り上げられることにより、効果的な社内広報にもなっている。

- TV、新聞、雑誌、書籍にて多数取り上げ
- 50を超える企業・自治体等からご要望を頂き、個別プレゼンテーションを実施

日本経済新聞 (2006/6/17)	ビジネスSNSブック (2006/10)	月刊ソリューションIT (2007年1月～5月)	日経コミュニケーション 1.15 意外に使える 企業内SNSの実力!	プレジデント (2007年7.30号)

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

15

NTT DATA

6. 立ち上げ時・運営時の工夫と今後の課題

- ① 立ち上げ当初の雰囲気づくり**
 - ・社内変革意識の高い社員を中心に数十名規模で試験を実施し、初期メンバーに
 - ・顔写真の掲載、プロフィールの公開をお願い
 - ・さくらQ & A
- ② 関連スタッフ部門の巻き込み(トップダウンとボトムアップの両面作戦)**
- ③ メディア取り上げによる広報活動**
 - ・社内外のメディアで取り上げてもらうことによる社内認知度の向上
 - ・運営者は出しゃばらず、押し付けず、社員の意思による参加の促進
- ④ 今後の課題**
 - ・アクティブメンバーの増加(アクセス頻度、情報発信数)
 - ・中間管理職、開発職の増加
 - ・出向者やグループ企業社員への拡大

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

16

NTT DATA

Insight for the New Paradigm

未来のしくみを、ITでつくる。

株式会社 NTTデータ

Copyright©2007 NTT DATA Corporation

17

コミュニティ活動ツール としてのSNS

(株) アイシーエス
野村 行憲

1

どんなコミュニティか

<http://www.imfj.net/>

imf 岩手Mac友の会

Apple Apple User Group

岩手Mac友の会(MFJ)
Iwate Macintosh Fan-club
JAPAN

岩手Mac友の会は、Macintoshを愛する方々による、
Macintoshの情報交換や、Macintoshの技術的な問題等の
議論をするための、非営利の組織です。



MFJ
Iwate Macintosh Fan-club
JAPAN
岩手Mac友の会
岩手Mac友の会

Copyright ©
Iwate Macintosh Fan-club
All rights reserved.
本サイトを無断で複数、複数で複数
することができます。

利用道具の変遷

- ・初期
 - ・BBSとe-Mail (Red Rider host)
 - ・オフ会（月例会と合宿）
- ・中期
- ・紙媒体の会報からPDF配布
- ・グループウェア (FirstClassTM)
- ・現在
 - ・フリーのSNSとメーリングリスト
 - ・OpenPNEによる自主運営のSNS

3

会報

林檎

岩手Mac友の会の会報「林檎」を御賞味下さい。

ダウンロードは自由ですが、著作権、肖像権などの諸権利は当会が保持します。

岩手Mac友の会の会報「林檎」は季刊（年4回）の予定です。
1999年度からPDF版が発行されています。

林檎36号	2002.4.27発行
林檎35号	2001.12.22発行
林檎34号	2001.8.23発行
林檎33号	2001.5.26発行
林檎32号	2001.1.27発行
林檎31号	2000.10.28発行
林檎30号	2000.7.22発行
林檎19号	2000.5.20発行
林檎18号	2000.2.22発行
林檎17号	1999.10.23発行
林檎16号	1999.6.26発行

4

FirstClass™

MEGUMIの設定について

MEGUMIは、岩手Mac友の会メンバーの情報交換のために利用している FirstClassを利用したグループウェアです。会員だけのサービスなので、会員登録している人だけが利用できます。利用にあたっては、FirstClassダウンロードサイトから、クライアントソフトをダウンロード（MacOS 9.x, MacOS X or Windows版）して、MEGUMI管理者から送られる設定ファイルを利用して接続してください。

【設定変更のお知らせ】

2004年8月25日に設置場所を変更しましたので、以下のとおり設定を変更してください。

(1) まず、FirstClassを起動します。



そうすると、上記のログイン画面が出てきますので、矢印部分を確認してください。
サーバー: のところが「megumi.imfc.org」となっていれば、設定を変更する必要はありません。そのまま利用できます。
サーバー: のところが「imf.nakai-net.co.jp」や、数字になっている人は、「設定...」ボタンを押します。

5

後継として使用したSNS (fc2)

The screenshot shows the fc2 website interface. At the top, there's a banner for the '2007 プレゼントキャンペーン' (2007 Present Campaign) featuring 'imf 岩手Mac友の会' and '神田未来のコラボアクション' (Collaboration Action).

The main area displays a user profile for '野村 行健さん'. It includes a profile picture, a message from the user, and a news feed.

The news feed lists several entries:

- 06月20日 ここを引っ越します
- 01月06日 ★ようこそMEGUMIへ。(利用説明) 最初にお読みください。
- 新着情報で新着情報をCheck!! タップページの表示を軽くするには?
- 05月26日 21:20 家庭教師 (高3生)
- 05月09日 17:23 MacでWindows (高3生)
- 04月27日 22:10 運営者 (高3生)
- 04月27日 12:35 初登場でVisaが発きました (高3生)
- 03月29日 21:01 京都御所 (高3生)
- 02月14日 11:33 ハスクス入力スヒート検定2 (高3生)
- 02月07日 22:25 仙台市博物館 (被災前に見ておきたい) (高3生)
- 02月01日 22:42 おひねい (高3生)
- 01月30日 18:30 別日から、オンラインネットがついにできました (高3生)
- 01月23日 23:49 ところの親子 (高3生)

At the bottom, there are sections for 'この新着情報を最初に見て見る' and '今ちょうどいい新着トピック'.

6

現在使用している道具

- ・会員向け
 - ・SNS (OpenPNEをカスタマイズ)
 - ・メーリングリスト (Google Group)
 - ・一般向け
 - ・Web
 - ・ブログ (行事案内などRSSをWebに表示)

現在使用しているSNS

The screenshot displays the homepage of the Iwate Mac Friends website. At the top, there's a navigation bar with links for Home, めぐみの部屋 (Megumi's Room), メッセージ (Message), 最新日記 (Latest Diary), コミュニティ (Community), カレンダー (Calendar), and 設定変更 (Setting Change). Below the navigation is a banner with the text 'INFORMATION 初回不定期 サイトオープン 11日(火) 19時~21時' and 'お詫び、八幡宮境内にてアーケード開催のため休館活動第2回'.

現在使用しているSNS (2)

コミュニティ質 *** イ件 が掲載しました。

1件~4件を表示

コミュニティ名	ナイトサロン
メンバーカー	27人
説明文	ナイトサロンの様子や、話題などを随時見させてくださいませんか。出席しなくても、なかなか出かけられなくて羨念に思っている人が多いかもしませんので。。。私みたいに
カテゴリ	コミュニティ
詳細を見る	
コミュニティ名	家の山
メンバーカー	27人
説明文	お家を共有する所です。会員の皆さんで共有するお家をお持ちしております。
カテゴリ	コミュニティ
詳細を見る	
コミュニティ名	売りだし、賣いたし、あげたし
メンバーカー	27人
説明文	売りだし、賣いたし、あげたし
カテゴリ	コミュニティ
詳細を見る	
コミュニティ名	めぐみの部屋
メンバーカー	27人
説明文	話題は何でもOKな掲示板
カテゴリ	コミュニティ
詳細を見る	

1件~4件を表示

9

現在使用しているSNS (3)

lmf 岩手Mac友の会

Home | めぐみの部屋 | メッセージ | 最新日記 | コミュニティー | カレンダー | 設定変更
ログイン|登録|ログアウト | ホビーページ | ホビーページの作成 | おすすめホビーページ | フリマ・中古品販売 | フリマ・中古品販売 | フリマ・中古品販売

トピック [めぐみの部屋]トピック

Googleが駄がならない。。。
2007年09月20日 ここ2、3日のお話なのですが、Google関連のサイトがみんな駄がらなくなっています。
私のところだけなのでしょうか?
みなさんのところではどうですか?

書き込み

1 つながっていいますよ。
2 私もGoogle, GMail, Google Notebookなど問題ありませんね。
3 可じく、職場も自宅も大丈夫です。
4 ご確認いただき、ありがとうございます。
私のところだけ、今日もGoogle関連はだめなようです。

1番~4番を表示

10

活動に必要な機能と道具

- ・ 主催者
 - ・ 会員管理（登録、削除、PW再発行）
 - ・ 会員への連絡 → 掲示板
- ・ 会員間
 - ・ 情報交換 → コメント可能掲示板
(掲示板、質問、回答、雑談)
 - ・ 個別の連絡 → メール（メッセージ）
- ・ 一般向け
 - ・ 情報公開 → Webやblog

11

インターネットの不都合

- ・ スパムメール
- ・ コメント・スパム、 トラックバック・スパム
- ・ 掲示板荒らし？
- ・ 情報の一方通行（WiKiは敷居が高い）
- ・ 公にはしたくないけど誰かに見せたい

12

匿名性と実名

- ・電子メール
 - ・差出人の偽称が簡単 → スパムの一因
- ・電子掲示板
 - ・ハンドル名（匿名）→ 謹謗中傷の温床
- ・実名では
 - ・個人情報保護の課題
 - ・気軽に書き込めない（誰が見てるか？）

13

コミュニケーションと広報

- ・コミュニケーション
- ・相手は特定少數
- ・相手が見える安心感
- ・広報
- ・広く一般に情報を伝える

14

SNSへの期待

- ・ コミュニティ活動支援ツールとして
- ・ 相手が見える安心感
- ・ トピックの既読管理
- ・ コミュニティへの全員登録
- ・ オープンとクローズドの情報公開
- ・ 投稿の通知 (RSSでも)

15

ご静聴ありがとうございました

終

16

編集後記

☆

年明けに発行予定だった SEAMAIL でしたが、いつもの船便シンドロームで2月も終わりになってしまった。

☆☆

この号は、去年10月に開かれた SEA Forum 特集です。

☆☆☆

企画および当日の司会をされた中野先生の「まとめ」にあるように、なかなか面白いフォーラムでした。

☆☆☆☆☆

なお、ここで紹介された手嶋屋さんの OpenPNE は、今年のソフトウェア・シンポジウムにおけるワークショップ討論準備のためのメーリング・リストとして利用される予定です。

☆☆☆☆☆☆☆

次号は、引き続き12月の SEA Forum "Immaterial Labor" の特集です。すでに編集作業はほぼ終わっているので、今度は船便にならずに発行できそうです。を始めようという企画が進行中のようです。いずれは、そのグループを中心に

☆☆☆☆☆☆☆☆

ソフトウェア・シンポジウム 2008

開催予告

2008年6月25～27日

香川県高松市 かがわ国際会議場 & サンポートホール高松

今年のソフトウェア・シンポジウムは、上記の予定で開催されます。運営スタイルは、一昨年からのモデル・チェンジを引き継いで、複数のテーマ別ワークショップ討論を中心にプログラムを編成するというかたちです。今年は、次の8つのテーマが予定されています：

- 1 モデリング
- 2 FLOSS (Free/Libre/Open Source Software)
- 3 Immaterial Labor
- 4 組込みシステム
- 5 テスティング
- 6 教育
- 7 要求工学
- 8 SW 開発管理

正式の開催案内およびワークショップ参加者の募集は3月初めを予定しています。もうしばらくお待ちください。

シンポジウム・スタッフ

実行委員長

中谷多哉子(筑波大学) 古川善吾(香川大学)

プログラム委員長

石川雅彦(SRA) 垂水浩幸(香川大学)



ソフトウェア技術者協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-12 丸正ビル5F

Tel:03-3356-1077 Fax:03-3356-1072

E-mail:sea@sea.or.jp

URL:<http://www.sea.jp/>